



CHAPTER 28

ログ レベルの設定

Cisco Prime Collaboration Manager では、次のログ レベルがサポートされています。

- **Debug** : このレベルで記録されたメッセージは、アプリケーションのデバッグに使用されます。
- **Info** : このレベルで記録されたメッセージは、アプリケーションの進行状況を示します。
- **Warn** : このレベルで記録されたメッセージは、有害な状況のおそれがあることを示します。
- **Error** : このレベルで記録されたメッセージは、アプリケーションの実行を続行可能であることを示します。

ログ レベルは、次の機能に対して設定できます。

- **障害管理** : 障害管理関連の問題に対し、ログ ファイルを収集します。
- **パフォーマンス モニタ** : パフォーマンス統計関連の問題に対し、ログ ファイルを収集します。
- **サーバ診断** : Cisco Prime CM サーバ関連の問題に対し、ログ ファイルを収集します。
- **検出、セッション モニタなど** : 検出、セッション管理、および Web サーバ関連の問題に対し、ログ ファイルを収集します。

ログ レベルの設定は、[Log Configuration] ページで変更できます ([Administration] > [Log Configuration])。ログ レベル設定を変更する場合は、必ず Cisco テクニカル サポート チームにお問い合わせください。

作成されたログ ファイルは /opt/emms/emsam/log から使用できます。これらのファイルにアクセスするには、*cmuser* としてログインする必要があります。ログ ファイルはバックアップ ファイルにも含まれます。

